

誤り耐性量子計算の最前線と展望

日時：2026年3月15日(日) 13:30-17:50

場所：東京科学大学 大岡山キャンパス

世界的に量子コンピュータの開発競争が激化するなか、日本ではムーンショット型研究開発事業のもと、誤り耐性量子計算の実現に向けたプロジェクトが進行しています。本シンポジウムでは、このプロジェクトを牽引する先生方をお招きし、量子コンピュータ開発の最先端の研究成果と今後の展望についてご紹介いただきます。

【招待講演者（敬称略）と講演タイトル】

・ **小芦雅斗（東京大学）**

誤り耐性型量子計算：理論研究からのアプローチ

・ **樽茶清悟（理化学研究所）**

誤り耐性量子計算へ向けた半導体量子ビットデバイスの開発

・ **田淵豊（理化学研究所）**

超伝導量子コンピュータプロジェクト

・ **小林和淑（京都工芸繊維大学）**

スケーラブルな高集積量子誤り訂正システムの開発

・ **大森賢治（分子科学研究所）**

量子スピード限界で動作する中性原子型・超高速量子コンピュータ

・ **高橋優樹（沖縄技術大学院大学）**

スケーラブルな機能集積型イオントラップと多重光接続で実現する誤り耐性量子コンピュータ

・ **山本俊（大阪大学）**

ネットワーク型量子コンピュータに向けて

・ **御手洗光祐（大阪大学）**

量子計算応用のこれまでとこれから